



【今週の暗唱聖句】

ちょうどひとりの人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。ローマ5:19

●ローマ書5章のこの御言葉前後の箇所を第一のアダム、第二のアダムの教えといいます。エバは確かに誘惑されて罪を犯しましたが、善悪の知識の木について直接命令を受けたアダムは、明確に意志的行動として神に逆らったため人類の罪はアダムの罪とされます。その罪はアダムから生まれた全ての子供たち、子孫、そして人類全部に広がりました。ゆえに人は生まれながらにして罪人なのです。因みにここに人類の起源が複数でなく、アダムとエバのカップルから全ての人が別れ出たことも示

唆されています。

●このアダムと対比されるのが第二のアダム、イエス・キリストです。キリストもアダムたちと同じように誘惑を受けましたが誘惑に打ち勝ただけでなく、父なる神の御心であった「人類のための十字架での身代わりの死を遂げる」という使命に「従順」に従い通しました。神はイエスの御名に信頼する者たちに「神の子供」という立場を与え、今度は血縁ではなく信仰によってつながれた家族が全世界に広がるよう定められたのです。

【サタン、悪霊の働き】

以下、いのちのことば社「Handy Pal クリスマン生活百科」p183 より引用

■キリスト教において、神や御使いの存在が明白な事実であるように、サタンや悪霊の存在もまた事実です。聖書の中でサタンを示す名称が17種類も用いられ、サタンの働きや特性を示しています。中でも有名なのは、空中の権威を持つ支配者（エペソ2:2）、この世の神（第二コリント4:4、ヨハネ13:2）暗闇の支配者（使徒26:18）、罪にさそう誘惑者（ヨハネ13:2）などです。■サタンは霊的な存在であるとともに、ヨブ1~2章やゼカリヤ3:1~2、マタイ4章を見ると人格と知恵を持った存在であることが分かります。■サタンはもともと天使のかしらであり、高慢になって神から追放された者であると語られています（イザヤ14:12~15、エゼキエル28:11~19、黙示録12:7~9）。■サタンとその配下にある悪霊は、私たちに対して次のような働きをします。第一は私たちに罪へ誘惑することです（第一歴代21:1）。第二は私たちにあざむくことです（第二コリント11:3）。第三は神から離れさせることです（ルカ22:31）。■サタンや悪霊は、その力、働きによって人々に恐れられるよりも、気づかれずに、人の心を欲望や高慢や無神論などへ導き、偶像礼拝によって神から放れさせ、忘れさせることを望んでおり、事実それによって大きな働きをしています。以上引用

????????? それにしてもなぜ エデンの園にそもそもへびが ??????????

神は私たちがこの地上で生きていくために必要な情報を十分くださっていますが、残念ながらこの問いに対しては直接の答えを下さっていません。とは言え、はっきり預言されていることがあります。それはやがてイエスを筆頭に人間がこのサタンを踏みつけるようになるということです。終わりよければすべてよしかな？

【先週のMESSAGEより】

天地創造／私たちの存在の土台 創世記1章2章

- 聖書は開口一番、神が全てを創造なさったことを告げる。神は力強く、知恵に満ちた「ことば」を用いて全ての創造をなさった。創世記はもちろん科学の教科書や、技術工学書として書かれたわけではない。しかし簡潔な記述の中に見られる正確さと意味の深さにはただ驚かされるばかりなのである。
- 光の創造に始まり、生命に不可欠な「奇跡の水惑星」の創造、他の動物にとり必要不可欠になる陸地の創造、酸素を「排気ガス」として生み出す植物の創造、潮の満ち引きを起し水を強制的に循環させて海を腐敗から守る巨大衛星「月」の創造、動植物の世界を面白く、楽しくする「差別化された種／個別デザイン」へのこだわり、そしてたった1400ccに過ぎない柔らかいたんぱく質の塊・・・つまり脳みそに宇宙全部を納めることの出来る人間を最後に創造された。この人間こそ創造の冠であることを聖書は述べている。■

【この教会のビジョン (6)】

※短期滞在者、永住者共に愛の絆の中で教会を形成し、霊的、経済的に自立した教会となることを目指す。

●「霊的自立」とは先ず第一に教会員が一人一人神と一対一で向き合える自立した信仰を持っていることを意味する。クリスチャンのなつたばかりの時には十分に牧師や信仰の先輩から養いを受ける必要がある。この点は強調してもしきれない。何事も最初が肝心である。植物も種から苗までは一番手厚く保護をする。しかし、信仰の成熟に伴い導き手への依存から脱却し、自らを神への信頼

と従順の中に置くことができるようになることが大切である。

●その上で、第二、自ら進んでキリストの身体の一部となり、他の兄弟姉妹に仕えつつ、へりくだって自分も他から仕えてもらう「相互依存」の立場に自分を置くのである。その目的はチームを形成し共に協力してキリストに示された使命を果たすことにある。どの世界でも、優れた集団というもの是一人一人が自分の任務を確実に果たしつつ、一糸乱れぬ協力関係の中で狂い無く確実に目的を果たすことができるのである。目指すべきは、頭なるキリストに機敏に従う運動神経の良い教会である。

【今週の英語】 Adrian Rogers "Adrianisms" より (テーマ：伝道)

Evangelism is one beggar telling another beggar where to find bread. 伝道は一人の乞食がもう一人の乞食にパンの在りかを教えるような物である。

Be Fishers of Men ... You catch 'em, He'll clean 'em. 人間を捕る漁師であれ。あなたが釣ったものは、主がきれいにしてくださる。

God put a cross between you and hell. If you want to go to hell, you will have to crawl over the cross of Jesus. 神はあなたと地獄との間に十字架を立てられた。

もしどうしても地獄に行きたいのなら、イエスの十字架を這って乗り越えて行かなければならない。